

令和7年度武蔵村山市立学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立雷塚小学校 校長名 赤坂 弘樹

教育目標

知性、徳性、体力、気力を育み、自分も他者も大切に、互いに気遣いができる人間性豊かな児童の育成を図る。

○考える子 ◎思いやる子 ○きたえる子 ○がんばりぬく子

1 目指す特色ある学校像

◎「人を大切にする学校」

自分のことを大切に思うとともに、友達や周りの人も大切にする児童を育成し、児童一人一人が所属感・存在感・充実感を得られる学校経営を推進する。

そのために、

- (1) 児童及び教師の人権感覚を磨き、人権教育のより一層の充実を図る。
- (2) 全ての児童が、「できた 分かった 身に付いた」と実感できる授業、児童一人一人が活躍できる授業を通して、学力向上を図る。
- (3) 多様な人々と協働しながら学ぶ教育活動を実践し、学んだことを自分の生き方や地域・社会に役立てようとする豊かな人間性を養う。

2 経営の具体策

- (1) 全ての教育活動において、「自他を大切にする取組」「偏見や差別をなくすための取組」を意図的・計画的・継続的に実践することを通して、人権教育のより一層の充実を図る。
- (2) 教育活動全体で道徳教育に取り組み、児童の道徳性を養う。
- (3) 地域に根ざした探究的な学習（まちづくり学習）を推進することを通して、地域を知り、地域を大切にする思いや地域に貢献しようとする態度を育む。
- (4) 学力調査等を活用して児童の学力の課題を分析し、基礎的・基本的な知識・技能の定着に生かすことで、児童一人一人の学力向上を目指す。
- (5) 体育科授業及び体育的行事等の充実を図り、児童の体力の向上を目指す。
- (6) 問題解決的な学習における「自力解決」と「協働的な学び」を実現することにより、思考力・判断力・表現力等を育成する。
- (7) 個に応じた指導方法や指導体制の工夫改善とともに一人1台端末等を活用した指導法の工夫、改善に努め、「個別最適な学び」を実現する。
- (8) 指導と評価の一体化に基づく1単位時間の明確な目標・ねらいを児童一人一人が達成するために、教師が校内研修等を通して、不断の授業改善に取り組む。
- (9) 個別指導計画、学校生活支援シートの作成、校内委員会等の活用を通して、児童の実態を的確に捉えた支援を実行し、特別支援教育の充実を図る。
- (10) 学校運営協議会等を通じ地域・家庭との連携を図り、地域に根ざした学校を目指す。

まちづくり学習の推進に向けた方策

◎まちづくり学習を校内研究に位置付け、全ての学年において、地域の人やもの等とのつながりや体験を重視した学習を推進する。 * 令和7・8年度武蔵村山市教育委員会特色ある学校づくり推進校

小中一貫教育推進に向けた方策（第三中学校区として）

◎第三中学校区の3校で連携し、児童の主体的な啓発運動を推進する。「授業実践交流」「ふれあいフェスティバル」等の共同実施により、相互交流、相互理解を図る。